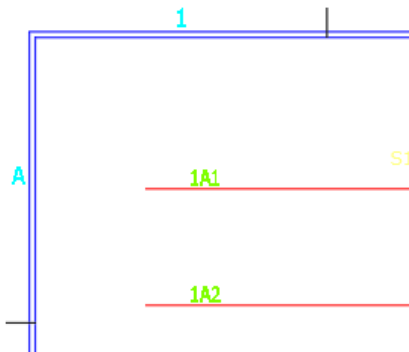


線番を効率的に挿入！ 図枠 XY アドレス＋連番



接続情報に線番は必須となりますが、ユーザによりどのような線番を付加するかは異なります。

今回は図枠の XY アドレスを線番にしたい場合です。

線番設定を変更し図面を作成しましょう。

XY アドレスを線番に使用する場合、線番設定の前に図面形式の設定が必要です。

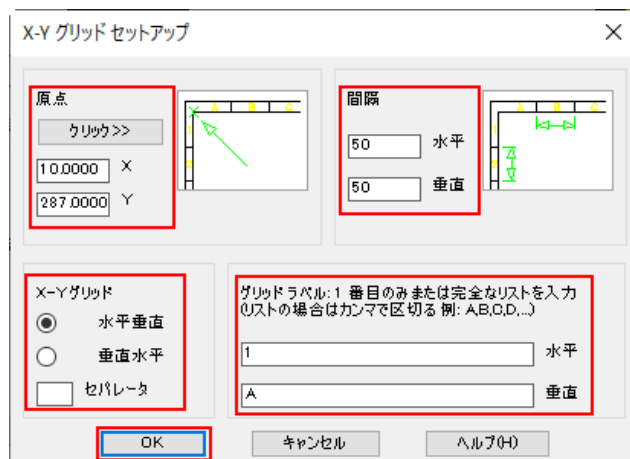
① 図面プロパティー図面形式 リファレンスの形式設定

図面形式 タブを開きます。



リファレンスの形式設定 を X-Y グリッド に変更します。

続けて 設定 ボタンを押します。



まず、アドレス原点の座標を決定します。クリック ボタンを押して図面内部をクリックまたは選択も可能ですが、直接座標入力することもできます。

次に、間隔を決定します。上図の例では、右に 50mm 移動したら横方向のアドレス値が変更されます。同様に下に 50 mm移動したら縦方向のアドレス値が変更されます。

3 番目にアドレス値の順序を決定します。例えば、横は 1,2,3・・・ 縦は A,B,C・・・の場合、アドレス値を 1A とするか A1 とするかを決定します。上図の設定は 水平垂直 です。で、1A に設定されます。

最後にアドレス値を決定します。上図の設定は、水平は数字、垂直はアルファベットを指定しています。抜け数字を指定したい場合にはカンマ区切りで入力します。

例えば、3 と 8 は見間違いが発生するので使用しない場合は、

1,2,4,5,6,7,9・・・

と入力します。OK ボタンを押します。

② 線番設定

※プロジェクトのプロパティにも設定はありますが、図面プロパティが優先されます。

図面プロパティー線番 タブを開きます。

線番形式 を ラインリファレンス に設定します。



線番形式

形式:

☐ 挿入時に PLC I/O アドレスを検索

☐ 連番:

増分:

☒ ラインリファレンス

接尾辞の設定 ボタンを押して、同一アドレス内に複数の線番が発生した場合の附番を決定します。

数字を選択した場合、線番の 1 番目には末尾に 1 が、2 番目には 2 が付けられます。

③ 線番 コマンドの実行

線番 コマンドを実行し対象となる配線を選択します。